

復習課題2 解答例

第7週

- 1) 江戸に年貢米として送るため。(or) 各藩の余剰米を大坂の米市場に輸送するため。
- 2) ・需要：薪炭や建設資材で需要があった。
・輸送：重量物のため輸送にコストがかかったため。
- 3) ・選択的拡大 … 過剰気味のコメから、地域特性に応じた農作物の産地形成を誘導
・流通近代化 … 都市の消費増大にあわせて公設卸売市場を整備し、価格形成を透明化
・農業構造改善 … 圃場の大規模化、機械化、施設化による生産効率の向上、省力化
- 4) ・都市近郊から、遠隔の高冷地や温暖地に輸送圏雲の大規模産地が形成されるようになった。
- 5) ・技術の普及、規格・品質の統一、新品種の導入、作型分化、選果場・選果設備の近代化

第8週

- 1) ・原料：主なものは水、麦芽、ホップ
・重量：問題になるのはビール瓶
・つまり、立地の決定に重要なのは重い瓶で、それは消費地から回収されてくるので、ビール工場は消費地立地型になる。
- 2) ・半導体部品の製造には大量の水と良質な労働力、そして用地が必要な一方で、軽量で輸送は問題にならないために、大都市から離れた地方に立地するほうが都合がよい。
- 3) ・大企業が発注する試作品やプロトタイプのような高精度の製品を金属から制作するような熟練加工技術をもつ職人の町工場が多数集積しているから。
- 4) ・諸コスト高騰や用地難のために、工程が標準化された電機部品の製造や、多くの手作業が必要な「労働集約型」の工場が多かった。

第9週

- 1) ・中心商店街にはファッション性の高いブランド品や希少なサービス、近隣商店街には日用品や汎用サービス。
- 2) ・変化：八幡町、北仙台、河原町、長町などの「準核心」商店街から高次の業種が失われて、一般商店街と変わらなくなった。
・要因：市電の廃止でアクセス性を失ったことや、立

地していたデパートなどの高次の商業施設がこの時期に郊外に立地し始めた大型店に対抗できなくなったこと。

- 3) ・主婦層：一家に2台目の自動車の普及で、買い物行動が広域化
・政策：それまで商調協によって行われてきた大型店の立地規制を大幅に緩和した。
- 4) ・中抜き
- 5) ・飲食店を開きたいと希望する人に経営ノウハウを教えて、自らの飲み屋ビルに入居して開業してもらい、その後は酒を独占的に卸す方式。

第10週

- 1) ・ミシシッピ川で南部とつながっていた西部が北東部と直結するようになり、北東部の価値観が西部に浸透した。
- 2) ・小牛田や鹿島台のように、開設された駅前が市街化する一方で、駅の設置を忌避した旧来の中心集落の発展は抑えられた。
- 3) ・農業地域から一大流通基地に変貌した。
- 4) ・阪神市場と直結したことから、近郊野菜の生産が増加し、観光農業も増えた。
- 5) ・それまで相互アクセスが不便だった地域が結ばれることで新たな交流が生まれて産業が発展する可能性が高いこと。つまり交通開発投資による高い効果が予想されること。

第11週

- 1) ①グローバル競争に与しない：地産地消、CSA、産消提携など。
(例) 鳴子の米 … 鬼首高原の農家を作る食味の良いコメは、高価で市場では売れにくいですが、これを鳴子の温泉組合が購入して宿泊者に提供することで、生産を支えている。
- ②独自の地域産業を創出：独自の付加価値、売る工夫
(例) 田子ニンニク … ニンニクに活路を求めた田子町では、中国の安価品の輸入増で一時危機に直面したが、これを独自の大玉品種と加工品の開発で克服。
- ③グローバル化に打って出る：輸出に乗り出す
(例) 安代りんどう … 安代町は高冷地で有利な農業は難しく、自生するリンドウに活路を求めて町をあげて品種改良に取り組み、独自品種を創出して世界市場で地歩を築く。